

原料	調達における社会課題		中長期目標	KPI		2022 年度実績	課題解決アプローチ
				2030 年	2025 年		
パーム油	地球環境	森林破壊、泥炭地開発、生物多様性の喪失	森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ	TTP ^{*1} 100%	TTP85%	TTP93%	<ul style="list-style-type: none"> 農園までのサプライチェーンの把握 NGO や搾油工場との協働/直接サプライヤーとのエンゲージメントによるサプライチェーンの改善（環境・人権リスク低減） 衛星写真による森林破壊のモニタリング 労働環境改善プログラムの適用 ランドスケープイニシアチブへの参画 RSPO^{*3} 認証油の調達 グリーバンズ（苦情処理）メカニズムの運用
	人権	強制労働・児童労働、先住民・地域住民・労働者からの搾取		全ての直接サプライヤーへの労働環境改善プログラム適用	パルマジュ エディブル オイル（マレーシア） ^{*2} の全てのサプライヤーへの労働環境改善プログラム適用	61% （パルマジュ エディブル オイル（マレーシア）の全サプライヤー）	
カカオ	地球環境	森林破壊、気候変動による生産地への影響、生物多様性の喪失	森林再生、児童労働撤廃	植樹 100 万本 ^{*4}	植樹 50 万本	植樹 6 万本	<ul style="list-style-type: none"> 植樹による森林再生 CLMRS の推進 児童への教育機会の提供 コミュニティ支援プログラム（ガーナ、コートジボワール）の実施
	人権	児童労働、農家の貧困		児童労働撤廃	最悪の形態の児童労働 ^{*5} ゼロ	不二製油グループのカカオ豆直接調達農家 100% に CLMRS ^{*6} を導入	
大豆	地球環境	森林破壊、生物多様性の喪失	森林破壊ゼロ、搾取ゼロ	コミュニティレベルまでのトレーサビリティ確保、または RTRS ^{*7} 認証品もしくは RTRS 認証に準じたその他認証品での調達率：100%	第一次集荷場所までのトレーサビリティ確保、または RTRS 認証品もしくは RTRS 認証に準じたその他認証品での調達率：100%	サプライヤーのセルフアセスメントを完了し、評価結果を踏まえた改善計画を策定	<ul style="list-style-type: none"> セルフアセスメント評価のフィードバックを通じたサプライヤーとのエンゲージメント 課題エリアでのトレーサビリティ把握に向けたサプライヤーとの直接対話の推進
	人権	先住民・地域住民・労働者からの搾取					
シアカーネル	地球環境	緑地の消失	森林保全、女性のエンパワーメント支援	植樹 6,000 本 / 年 ^{*8}	植樹 6,000 本 / 年	植樹 6,107 本 / 年	<ul style="list-style-type: none"> 協同組合までのサプライチェーンの把握 シアの木の緑地保全 エネルギー転換による環境負荷低減 直接雇用の創出
	人権	農家の貧困		地域レベルまでのトレーサビリティ：75%	50%	93.3%	
				Tebma-Kandu 協同組合からのシアカーネル直接調達比率：50%	30% ^{*9}	3.4%	
				西アフリカでのシアカーネル搾油・分別比率：100%	100%	100%	
				N/A	フジ オイル ガーナのエネルギー使用量の非化石燃料 ^{*10} 比率（蒸気発生用）：100%（2023 年目標 ^{*11} ）	100%	
				N/A	フジ オイル ガーナでの正規雇用の社員数：50% 増（2017 年比）	60% 増加（2017 年比）	

*1 TTP：Traceability to Plantation（農園までのトレーサビリティ）。

*2 パルマジュ エディブル オイル（マレーシア）：不二製油グループ本社の 100% 子会社の油脂製造拠点。

*3 RSPO：Roundtable on Sustainable Palm Oil（持続可能なパーム油のための円卓会議）。

*4 さまざまな種類の緑陰樹の苗木を 2021 年から 2030 年までの 10 年間で 100 万本植樹予定。

*5 最悪の形態の児童労働：Worst Forms of Child Labour（WFCL）。ILO（国際労働機関）第 182 号条約「最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約」により、子どもの安全、健康、道徳を害するおそれのある危険有害労働を禁止している。人身取引、債務労働、強制労働、児童買春、および児童ポルノ、犯罪など不正な活動、武力紛争での子どもの使用が含まれる。

*6 CLMRS：Child Labour Monitoring & Remediation System（児童労働監視改善システム）。

*7 RTRS：Round Table on Responsible Soy Association（責任ある大豆に関する円卓会議）。

*8 主にシアの木の苗木を 2021 年から年間 6,000 本植樹予定。

*9 2021 年、2022 年、2023 年はそれぞれ 10%、10%、15% を KPI に設定。

*10 シアカーネル搾油後の油粕（ミール）などを非化石燃料として使用。

*11 2021 年時点で非化石燃料比率は 75%。